

通学路の安全確保について



質問者
鈴木 眞徳 議員

川崎市登戸において、通学路、スクールバスのバス停付近で私立カリタス小学校の児童17人と保護者2人の合計19人の刃物事件がありました。

松田町も通学路の安全を確保されていると思います。

そこで、次の点について質問させていただきます。
(1) 現在、通学路の安全



朝の交通指導

をどのように決めて確保していただけますか。
(2) 現在の通学路に関して安全面等保護者との話し合いはされていますか。

A 子どもの安全・安心

回答 (教育長)



通学路の決定は、学校が保護者に対して示した案について協議し、最終的にPTA運営委員会等の場で決定しております。それをもとに、次の2点

を留意すべき事項等として考慮し、児童生徒の通学路について検討いたします。

一点目は、家から学校までの最短距離であることとを原則とし、交通量、信号、横断歩道の有無など、交通事故に対する危険回避ができること。二点目は、子どもたちが歩く状況から、人通り

や見通しの良さなど物理的な危険箇所など、子どもの目線で交通安全とともに不審者から身を守る対策も考えながら検証しています。

PTA主催のあいさつ運動の中でも自治会内の通学危険箇所について確認を行い、PTA運営委員会等の場で情報共有しています。

松田町の全町的な活性化策を問う



質問者
大館 秀孝 議員

本町は中心市街地と寄地区の周辺部に分かれているので、画一的な活性化は必然的に無理な町の形です。市街地では町営住宅始め、これからの計画を含め多額な財政出動され活性化が図られてい

ます。寄地区でもドッグランを始めYHV事業等推進されていますが、限られた資源を生かした、より一層のオール松田的活性化策について、どの様に考えていただけるのかお伺い致します。

まちの将来像

いのち“育み”未来へ“ツナグ”
進化“つづける”故郷

松田地区の役割

新松田駅・松田駅周辺の利便性や松田山の地域資源を活かした魅力づくり

寄地区の役割

森林や農業の自然環境や体験・ふれあい資源を活かした魅力づくり

まちづくりアクションプログラムより

A 「オール松田的」
活性化に
取組みます
回答(町長)



町財政の将来推計等を見ますと、今以上創意工夫による、行財政運営を進めなければなりません。限られた財源を有効活用するためには、町民相互の理解と協力を賜り、計画的に取組む事が重要と考えます。地域の様々な

資源は地域の宝でもあり、その資源は町民皆さんの生きがい・やりがい、財源など生活の礎にも変化すると考えていますので、現時点からしっかりと意識と覚悟を持ち、寄地区と市街地と比較して事業を行うのではなく、各地域の魅力と必要性を最大限に引出す事業を町民と一体となって「オール松田」で人と人、人と地域、地域と地域をつなぎ、融合させ、さらなる活性化を図り積極的に取り組んでまいります。